

秋雨前線出水概要

R3.8.12 ~ R3.8.15

令和3年8月16日

国土交通省 大和川河川事務所

出水概要

8月11日頃から15日頃にかけて前線が西日本に長期間に渡って停滞し、前線に向かって太平洋高気圧の縁を回る湿った空気が持続的に流れ込んだため、西日本の広い範囲で断続的に雨が降り続いた。

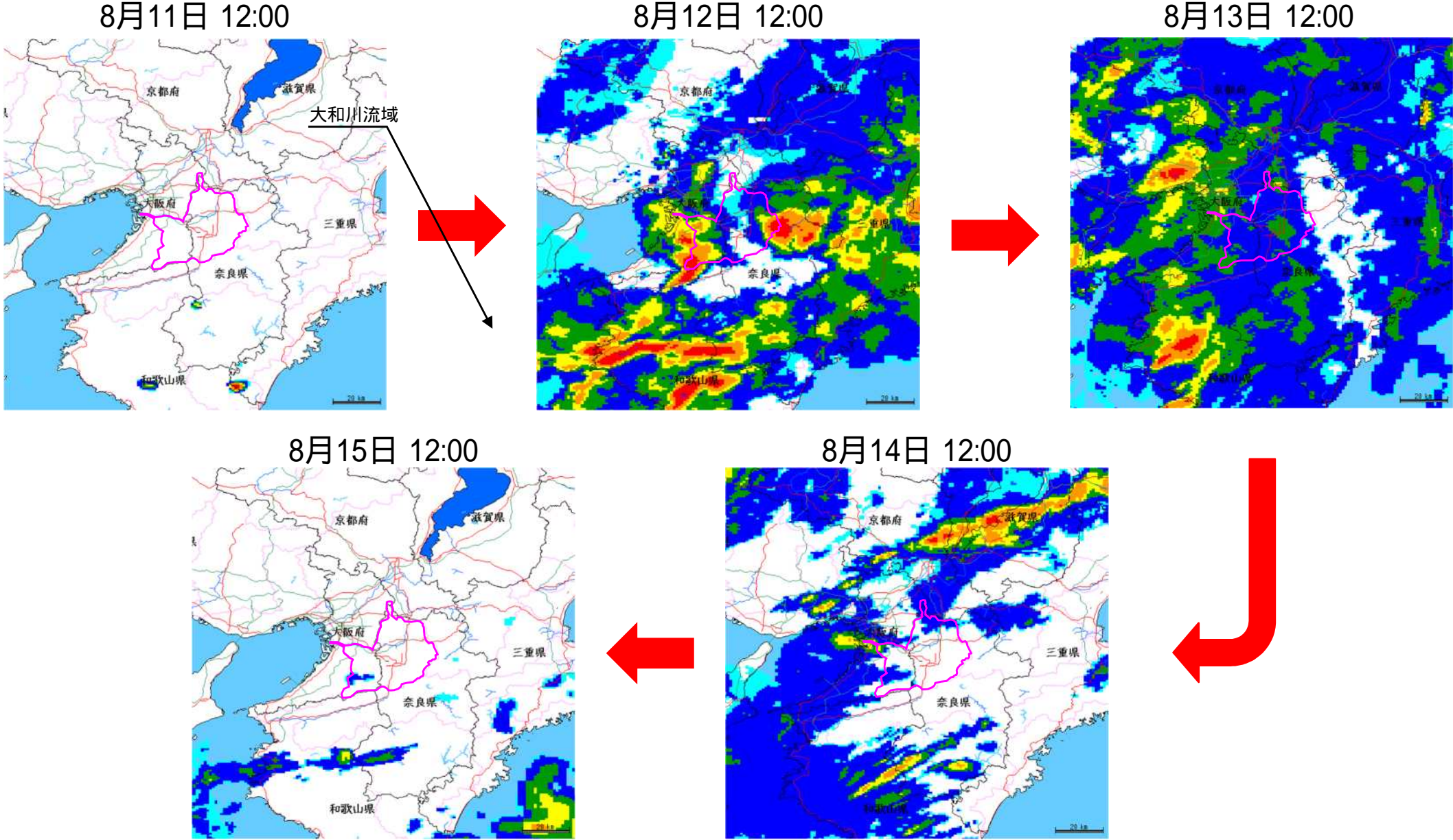
大和川流域では、最大1時間降水量 約20mm～40mm、柏原上流域平均累加雨量 約155mmとなり、年間降水量(10ヶ年平均)の1/10程度の降水量であった。

大和川の柏原水位観測所では1時間の水位上昇量が最大1.98m、石川の道明寺水位観測所では1時間の水位上昇量が最大2.01mを記録。

大和川の藤井水位観測所地点においては、氾濫注意水位(レベル2)を超過したものの、『防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策』による河道掘削等により、約0.26mの水位低減効果があった。

佐保川の番条水位観測所地点においては、氾濫注意水位(レベル2)を上回る予測であったが、『防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策』による堰撤去や河道掘削等により、約0.46mの水位低減効果を発現し、氾濫注意水位超過を回避した。

8月12日朝方から15日の夕方にかけて、断続的に雨が降り続き、大和川流域では、最大1時間降水量約20mm～40mm、柏原上流域平均累加雨量で約155mmを記録した。



事務所体制・水防警報等発令状況

大和川河川事務所では、8月12日11時30分に注意体制を発令、同13時10分に第一警戒体制を発令、同17時00分に注意体制に更新、8月15日16時00分に注意体制を解除。

板東、番条の2地点で水防警報（待機）を発表

風水害防災体制

発令日時	種類	発令理由
8月12日 11:30	注意体制 発令	樋門・樋管の操作体制をとる必要があるため
8月12日 13:10	第一警戒体制 発令	樋門操作の必要があるため
8月12日 17:00	注意体制 更新	樋門操作の必要がなくなったため
8月15日 16:00	注意体制 解除	水位の上昇が予想されず、樋門の操作体制をとる必要がなくなったため

水防警報（大和川河川事務所発表）

地点名	発表日時	種類
番条	8月12日 12:00	水防警報（待機）
	8月12日 17:00	水防警報（解除）
板東	8月12日 13:40	水防警報（待機）
	8月12日 17:00	水防警報（解除）

地すべり防災体制指令書

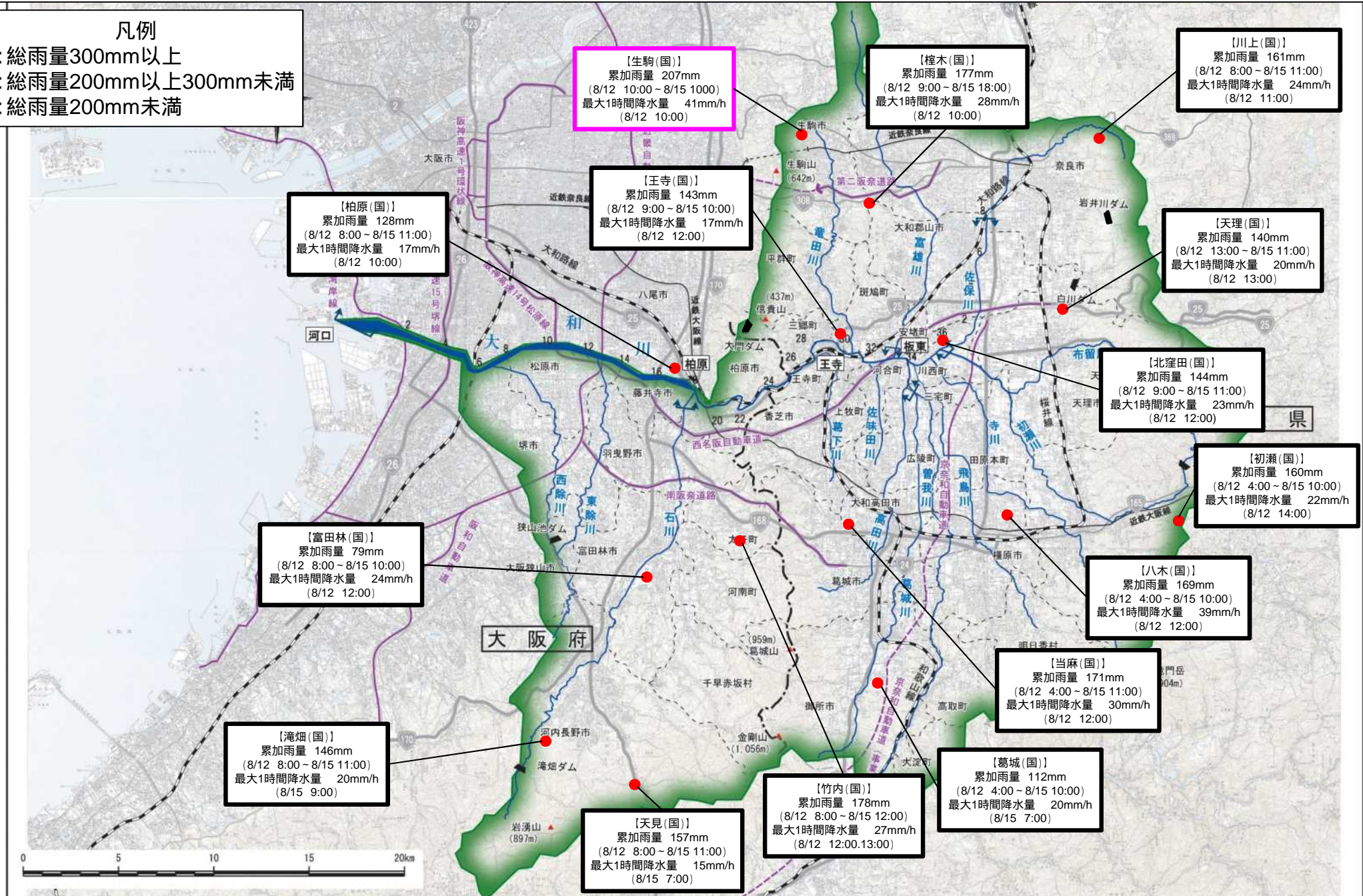
発令日時	種類	発令理由
8月14日 17:00	準備警戒体制（A） 発令	亀の瀬の累加雨量が90mmを越え、今後強い降雨が予測されているため
8月23日 17:00	準備警戒体制（A） 解除	今後の降雨のおそれがなく、現地の異常も確認されないため

大和川流域における降雨の状況

大和川流域では、多いところで200mmを超える累加雨量を観測。

凡例

- ：総雨量300mm以上
- ：総雨量200mm以上300mm未満
- ：総雨量200mm未満



大和川における水位の状況

大和川流域では、藤井、王寺の水位観測所で氾濫注意水位を超過。
道明寺水位観測所では、1時間で最大水位上昇量が2.01mを記録。

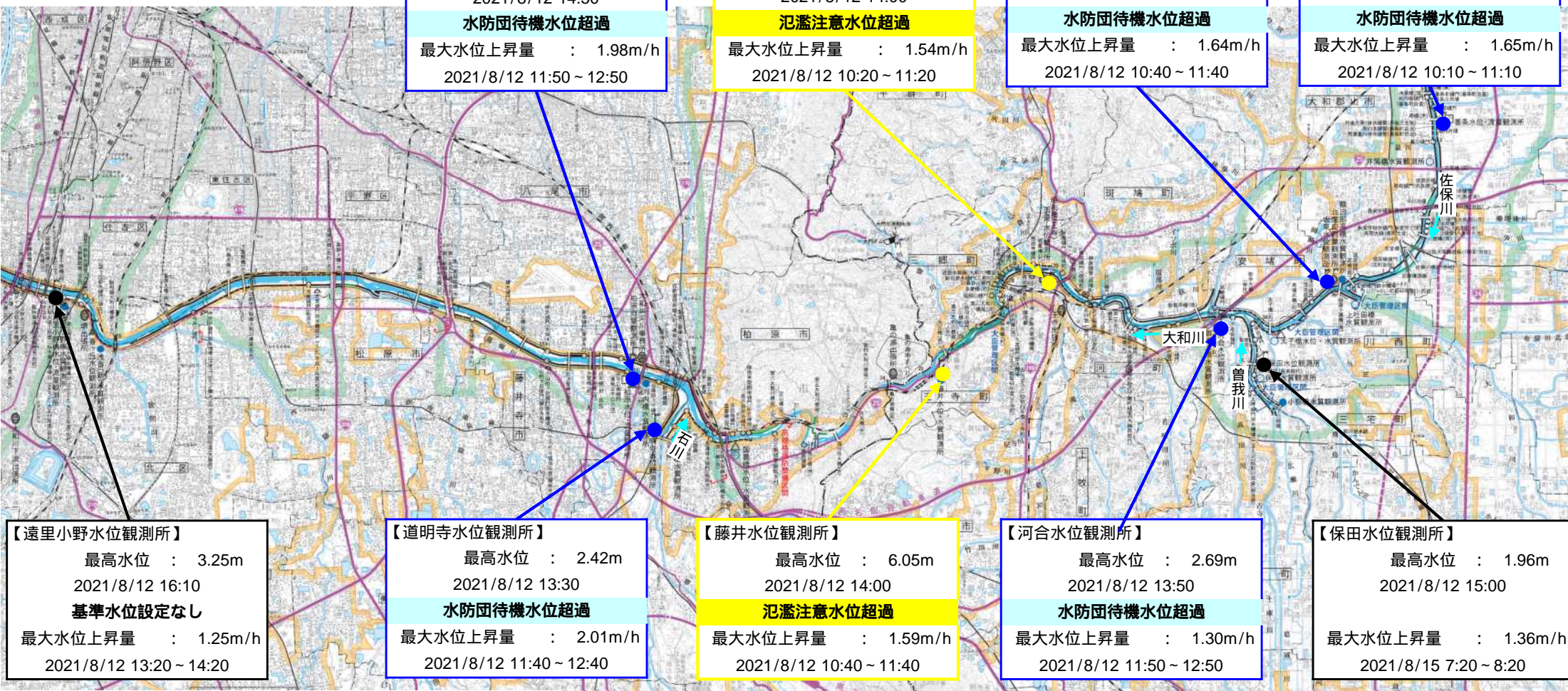
8月16日時点のデータにより算出しており、今後の精査により数値が変動する場合があります。

【柏原水位観測所】
最高水位 : 2.11m
2021/8/12 14:50
水防団待機水位超過
最大水位上昇量 : 1.98m/h
2021/8/12 11:50 ~ 12:50

【王寺水位観測所】
最高水位 : 4.51m
2021/8/12 14:00
氾濫注意水位超過
最大水位上昇量 : 1.54m/h
2021/8/12 10:20 ~ 11:20

【板東水位観測所】
最高水位 : 2.46m
2021/8/12 13:30
水防団待機水位超過
最大水位上昇量 : 1.64m/h
2021/8/12 10:40 ~ 11:40

【番条水位観測所】
最高水位 : 1.94m
2021/8/12 13:00
水防団待機水位超過
最大水位上昇量 : 1.65m/h
2021/8/12 10:10 ~ 11:10



【遠里小野水位観測所】
最高水位 : 3.25m
2021/8/12 16:10
基準水位設定なし
最大水位上昇量 : 1.25m/h
2021/8/12 13:20 ~ 14:20

【道明寺水位観測所】
最高水位 : 2.42m
2021/8/12 13:30
水防団待機水位超過
最大水位上昇量 : 2.01m/h
2021/8/12 11:40 ~ 12:40

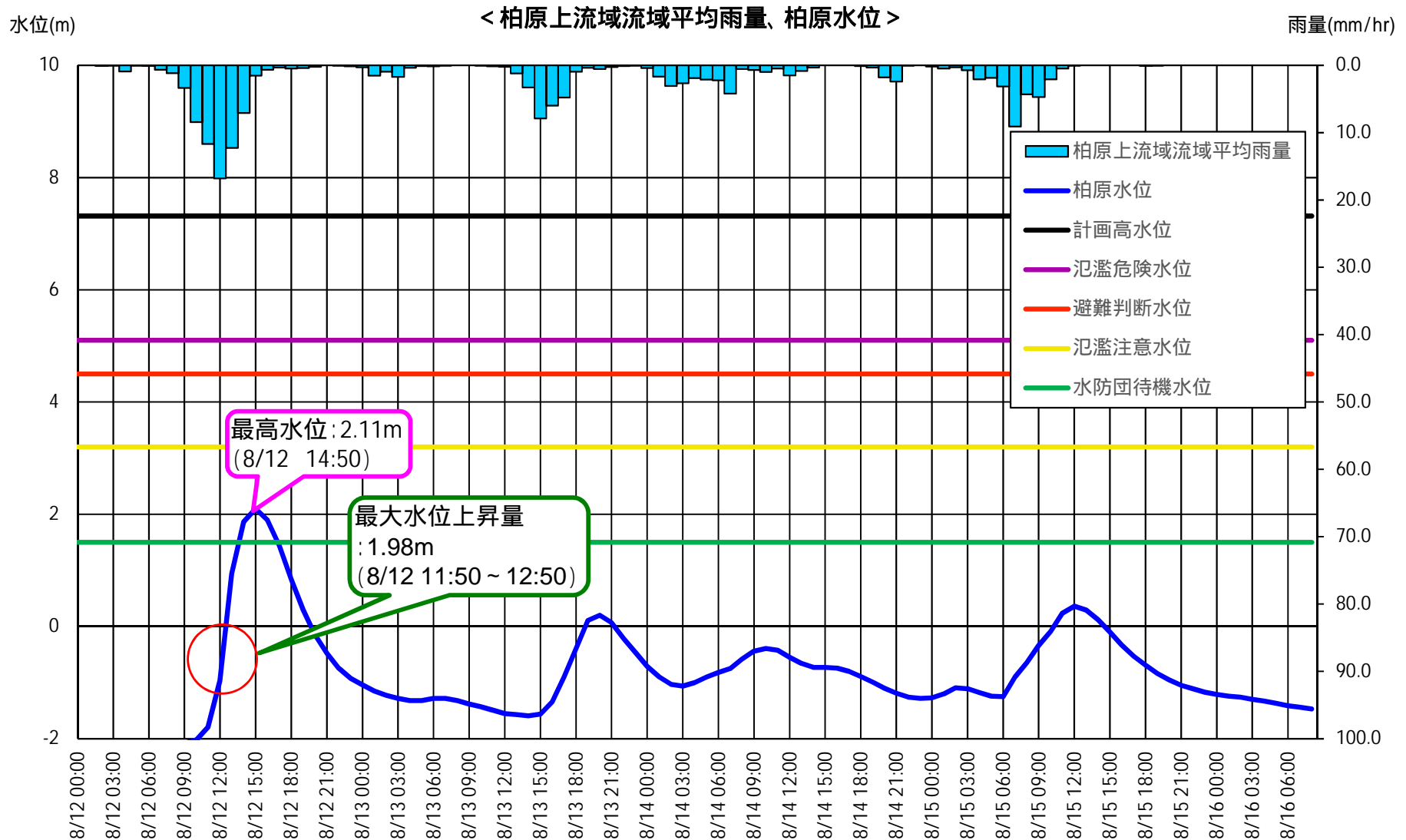
【藤井水位観測所】
最高水位 : 6.05m
2021/8/12 14:00
氾濫注意水位超過
最大水位上昇量 : 1.59m/h
2021/8/12 10:40 ~ 11:40

【河合水位観測所】
最高水位 : 2.69m
2021/8/12 13:50
水防団待機水位超過
最大水位上昇量 : 1.30m/h
2021/8/12 11:50 ~ 12:50

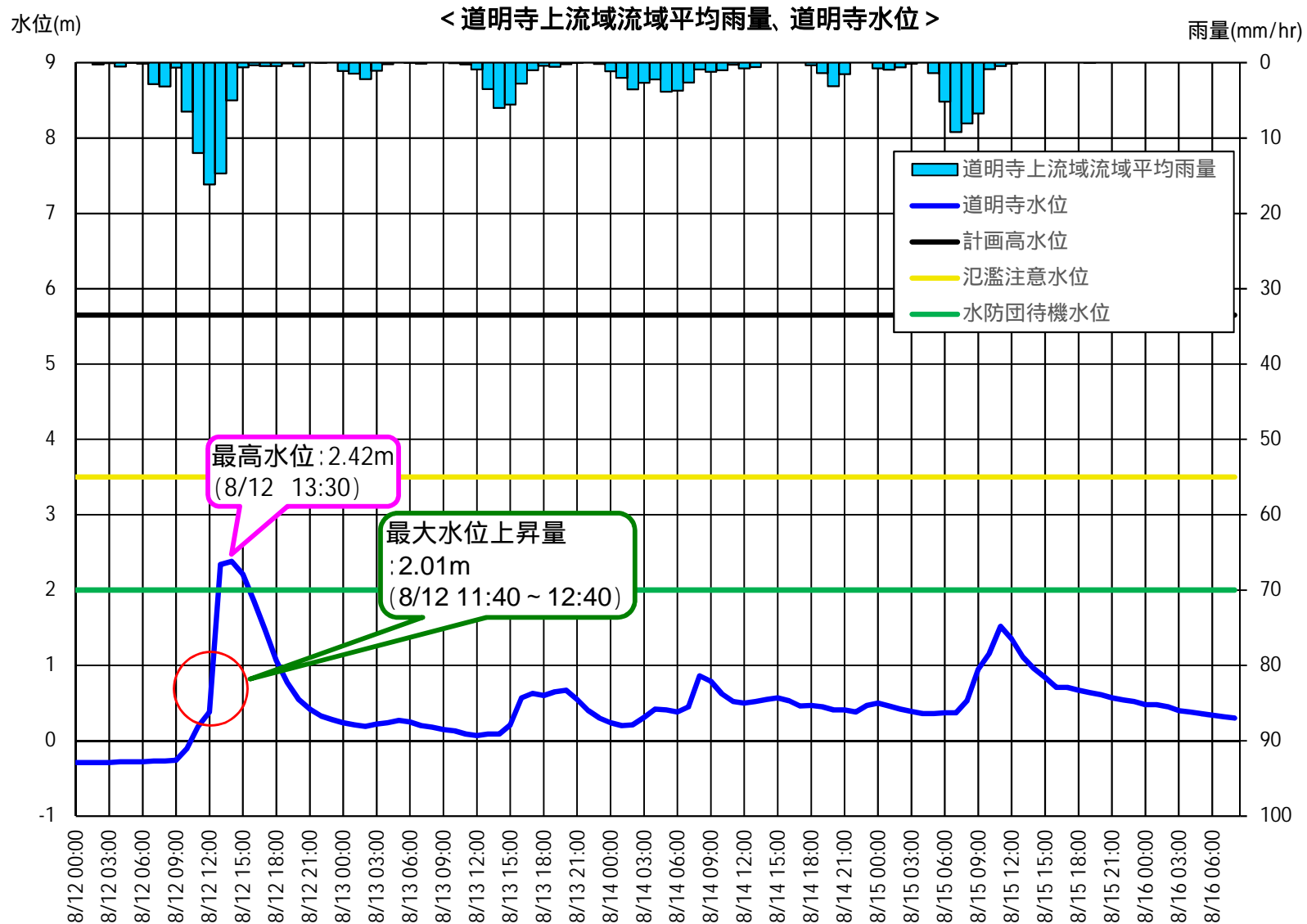
【保田水位観測所】
最高水位 : 1.96m
2021/8/12 15:00
最大水位上昇量 : 1.36m/h
2021/8/15 7:20 ~ 8:20

柏原上流域では、流域平均12時間雨量64.2mmで確率規模としては約1/2以下、流域平均累加雨量154.2mmの降雨を観測。

柏原水位観測所では、水防団待機水位を上回る2.11m、1時間の最大水位上昇量は1.98m/hを記録した。
8月16日時点のデータにより算出しており、今後の精査により数値が変動する場合があります。



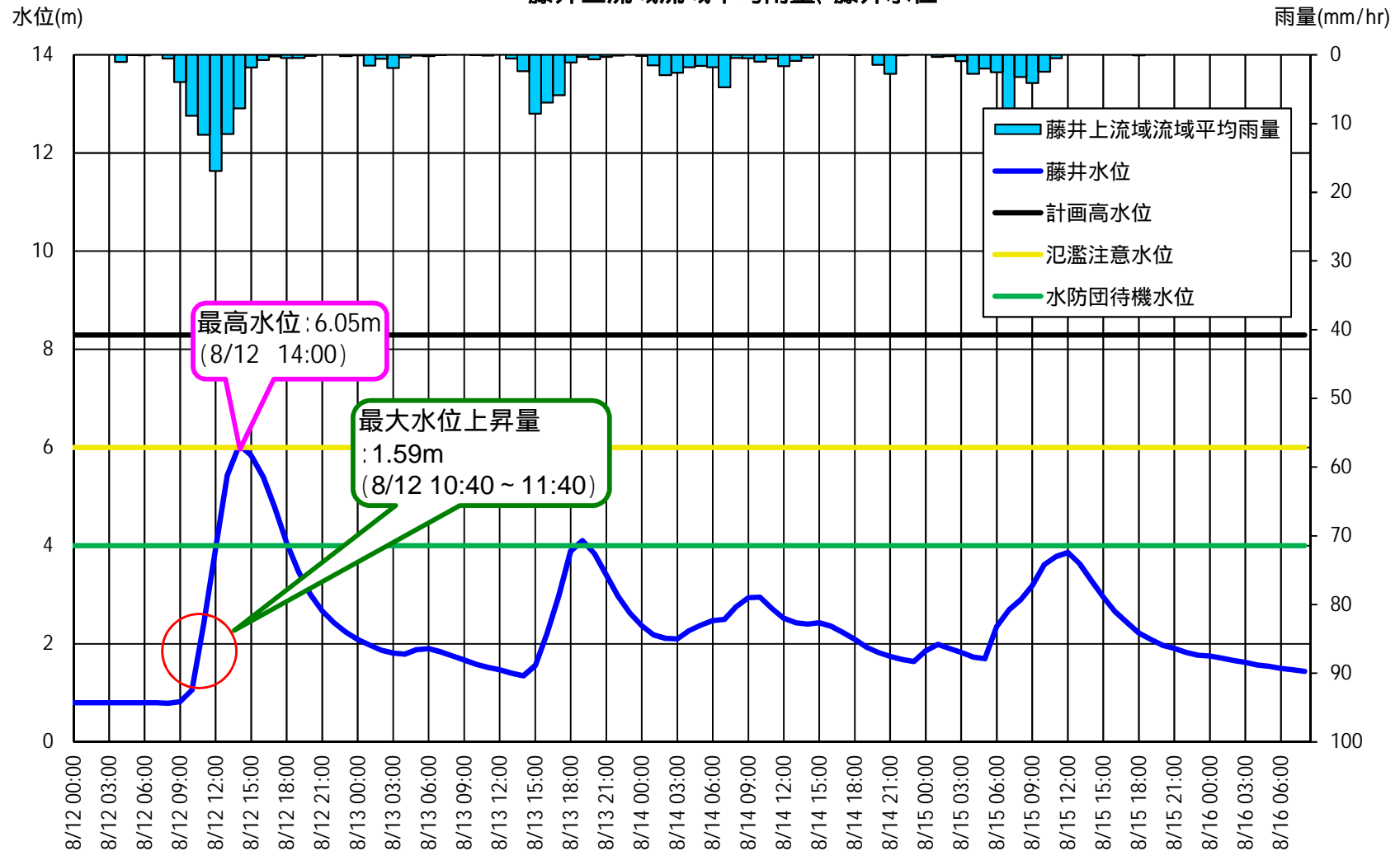
道明寺上流域では、流域平均12時間雨量62.8mm、流域平均累加雨量158.9mmの降雨を観測。
 道明寺水位観測所では、水防団待機水位を上回る2.42m、1時間の最大水位上昇量は2.01m/hを記録した。
 8月16日時点のデータにより算出しており、今後の精査により数値が変動する場合があります。



大和川における水位の状況 (藤井水位観測所)

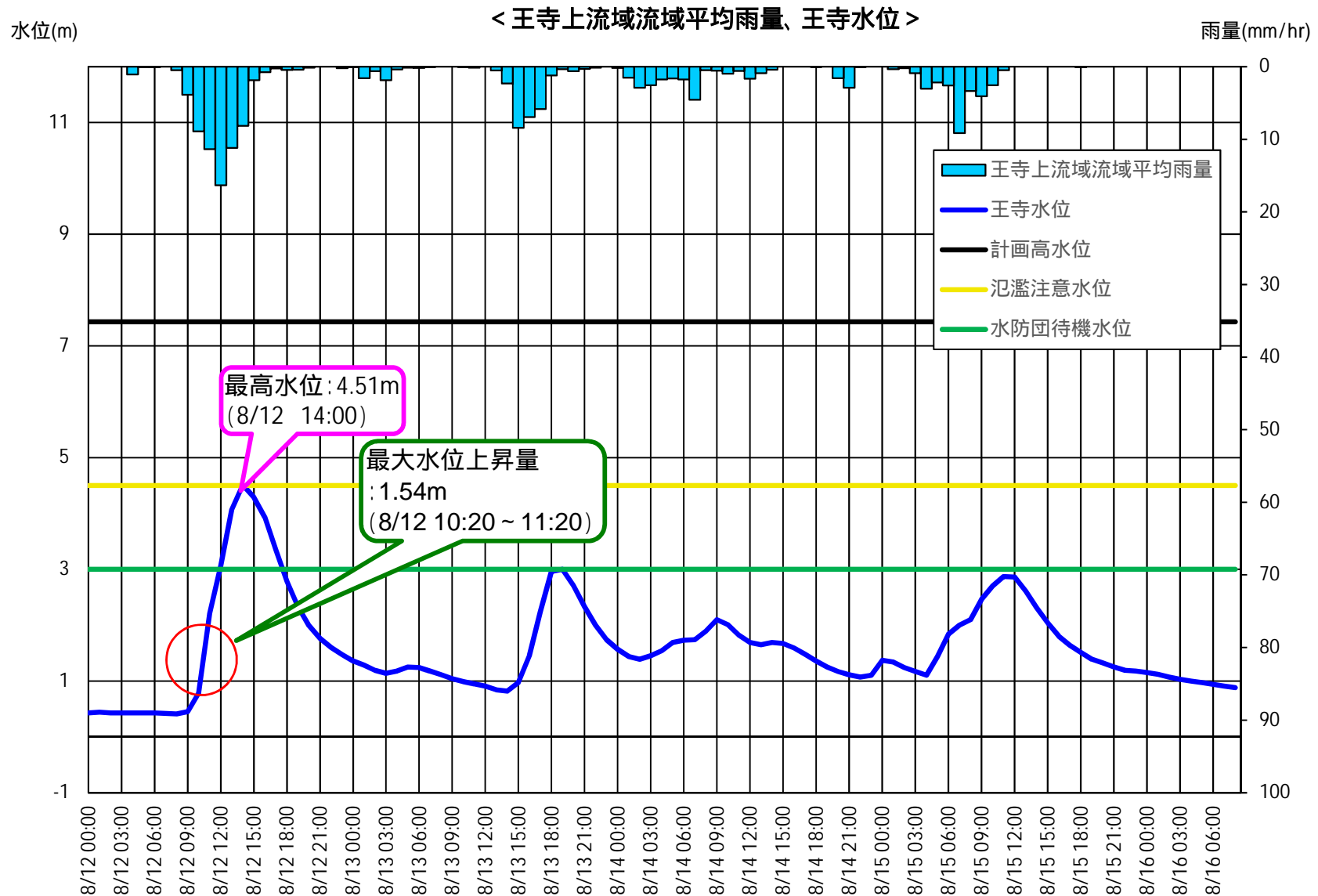
藤井上流域では、流域平均12時間雨量64.9mm、流域平均累加雨量153.0mmの降雨を観測。
 藤井水位観測所では、氾濫注意水位を上回る6.05m、1時間の最大水位上昇量は1.59m/hを記録した。
 8月16日時点のデータにより算出しており、今後の精査により数値が変動する場合があります。

< 藤井上流域流域平均雨量、藤井水位 >

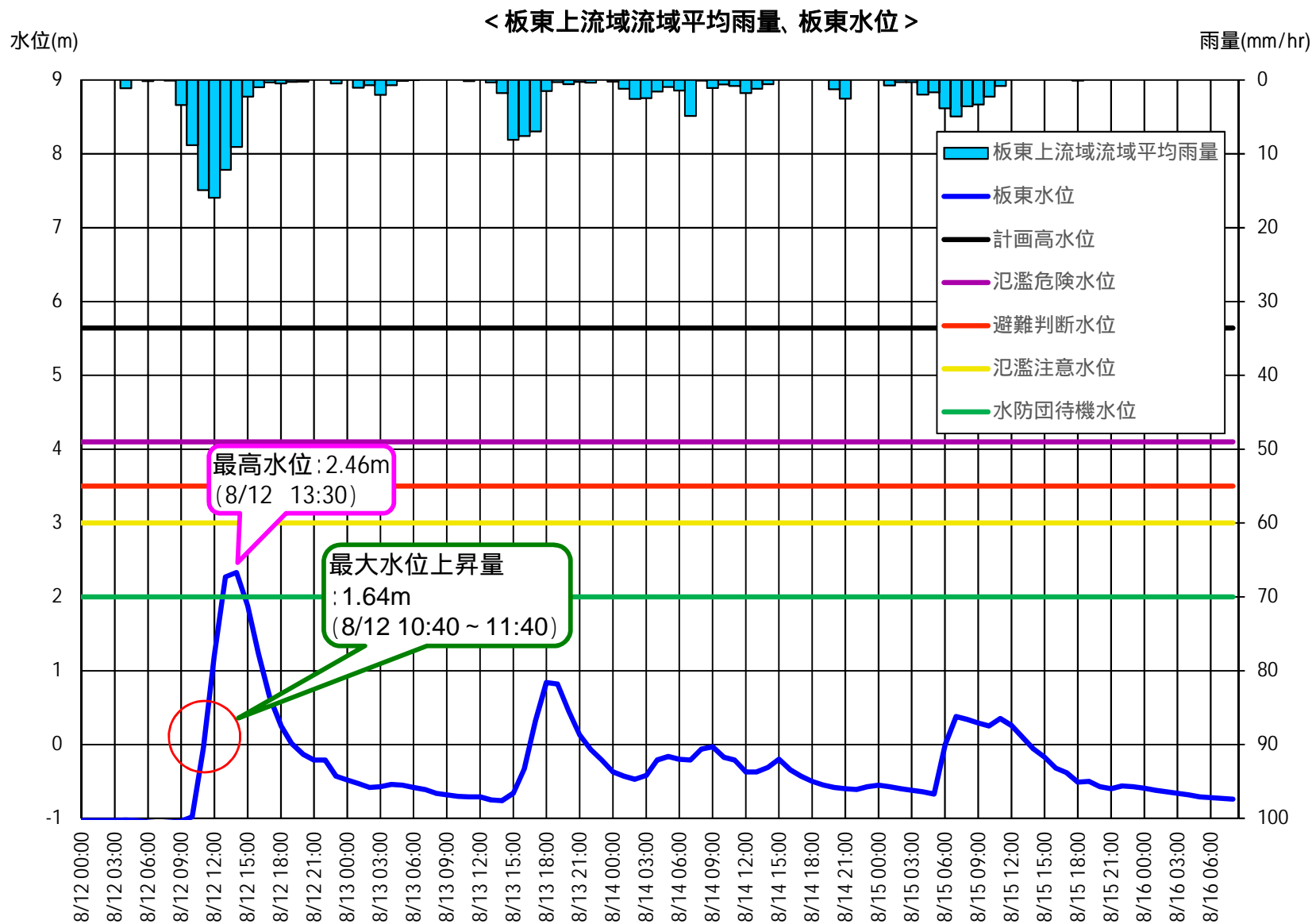


大和川における水位の状況(王寺水位観測所)

王寺上流域では、流域平均12時間雨量64.0mm、流域平均累加雨量152.6mmの降雨を観測。
 王寺水位観測所では、氾濫注意水位を上回る4.51m、1時間の最大水位上昇量は1.54m/hを記録した。
 8月16日時点のデータにより算出しており、今後の精査により数値が変動する場合があります。

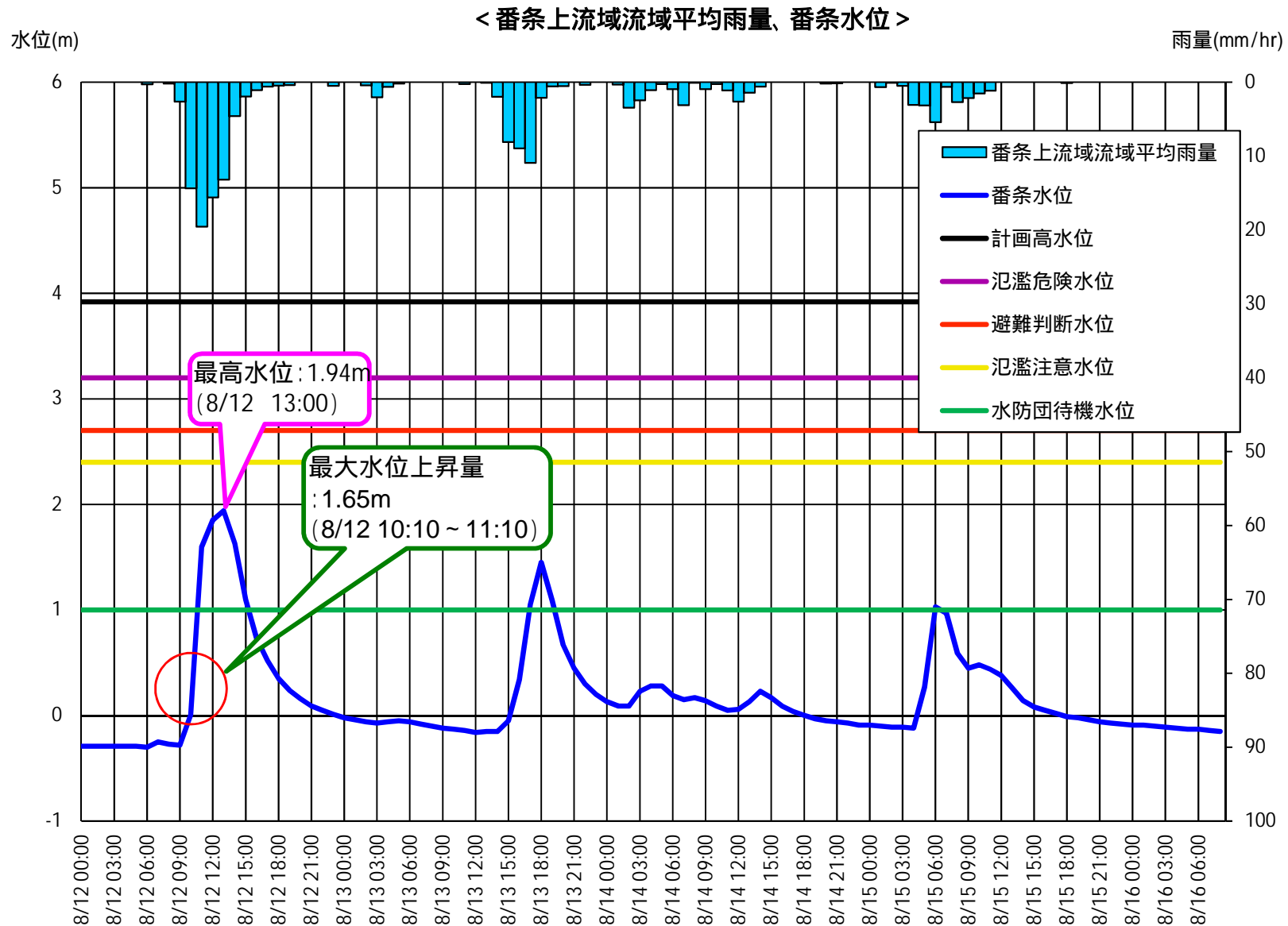


板東上流域では、流域平均12時間雨量68.7mm、流域平均累加雨量151.4mmの降雨を観測。
 板東水位観測所では、水防団待機水位を上回る2.46m、1時間の最大水位上昇量は1.64m/hを記録した。
 8月16日時点のデータにより算出しており、今後の精査により数値が変動する場合があります。

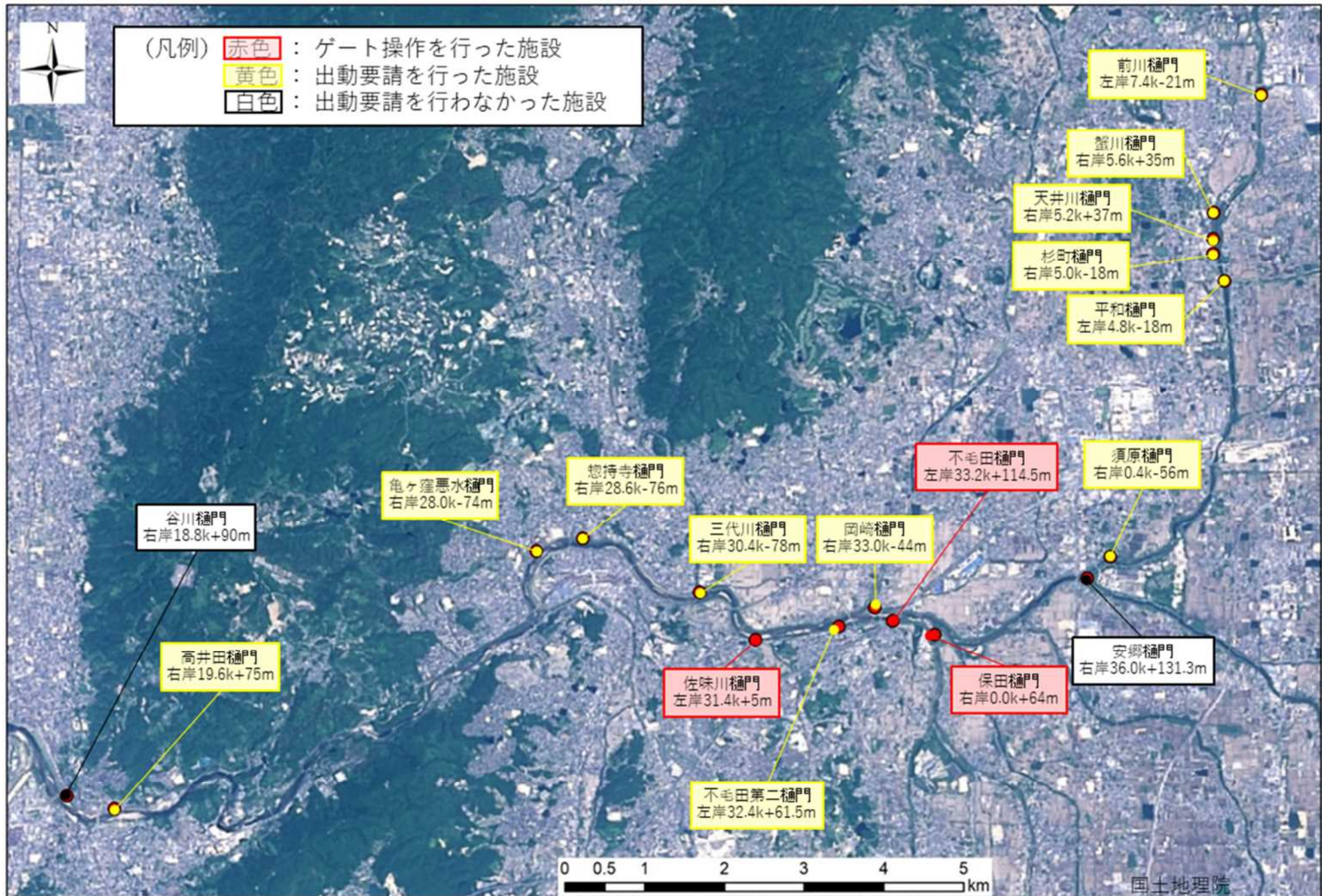


大和川における水位の状況 (番条水位観測所)

番条上流域では、流域平均12時間雨量74.5mm、流域平均累加雨量151.9mmの降雨を観測。
 番条水位観測所では、水防団待機水位を上回る1.94m、1時間の最大水位上昇量は1.65m/hを記録した。
 8月16日時点のデータにより算出しており、今後の精査により数値が変動する場合があります。



水門・樋門位置図



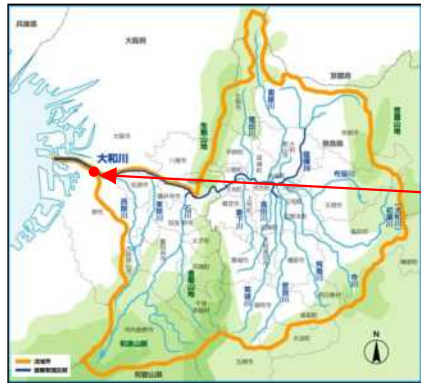
大和川水系大和川における河川改修事業の効果(速報版)

大和川水系大和川では、令和3年8月12日からの前線性降雨により、下流部の遠里小野水位観測所においてT.P.+3.84mの水位を記録した。

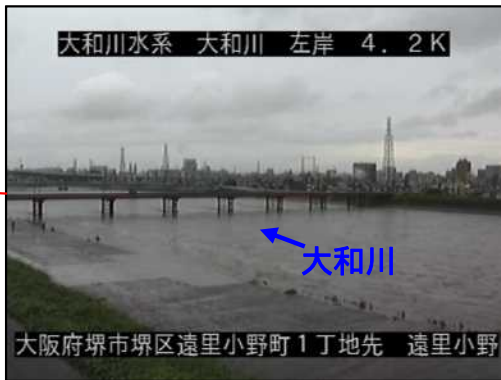
近年の河道掘削等の実施により、遠里小野水位観測所地点(河口から4.2km地点)において、**約0.28mの水位低減効果を発現**。

今後の精査により数値が変動する場合があります。

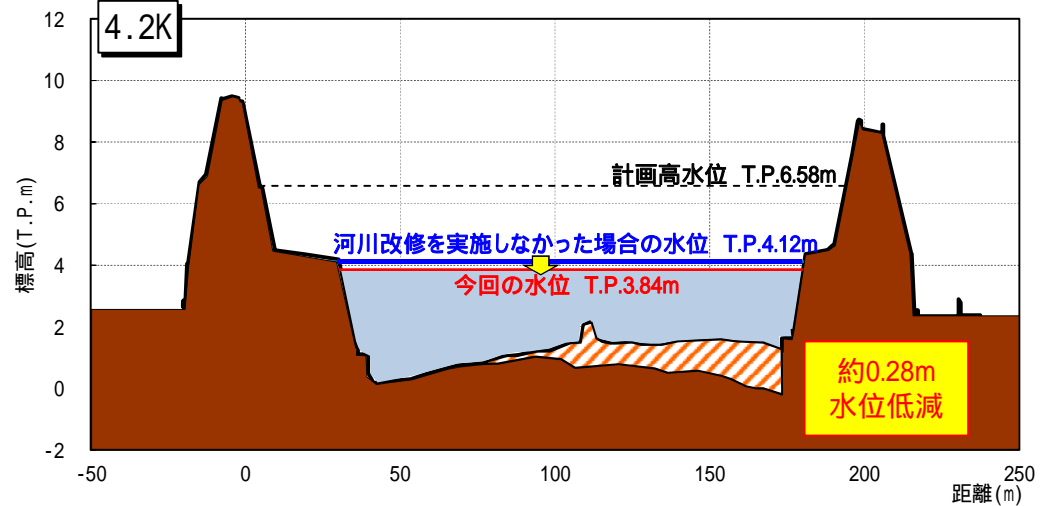
位置図



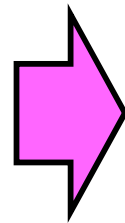
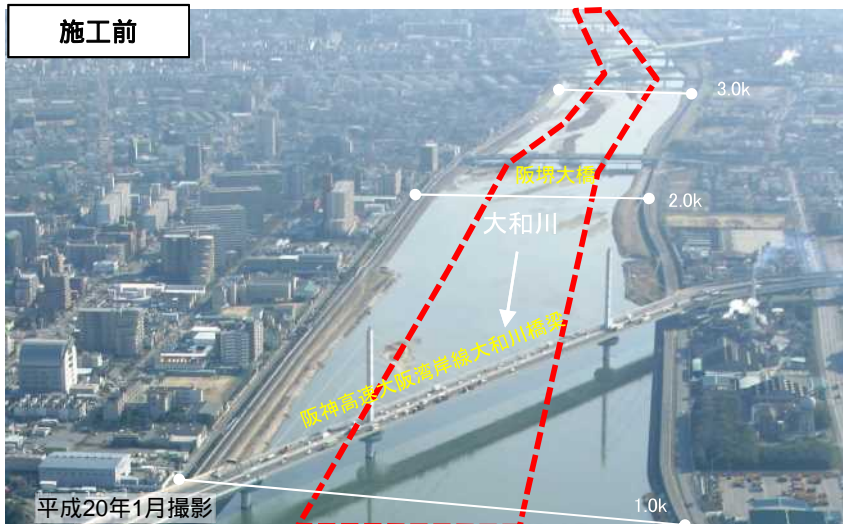
出水状況(令和3年8月12日16時)



河川整備による水位低減効果



近年実施した河川改修(河道掘削)



大和川水系大和川における河川改修事業の効果(速報版)

大和川水系大和川では、令和3年8月12日からの前線性降雨により、亀の瀬狭窄部上流の藤井水位観測所において氾濫注意水位を0.05m上回る水位を記録した。

『防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策』による河道掘削等の実施により、藤井水位観測所地点(河口から25.6km地点)において、**約0.26mの水位低減効果を発現**。 今後の精査により数値が変動する場合があります。

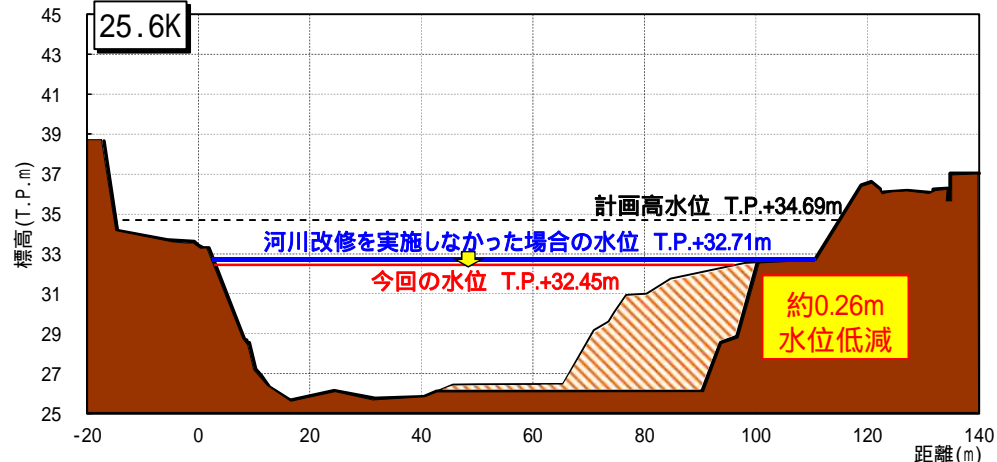
位置図



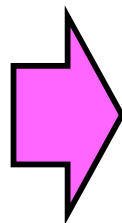
出水状況(令和3年8月12日14時)



河川整備による水位低減効果



近年実施した河川改修(河道掘削)



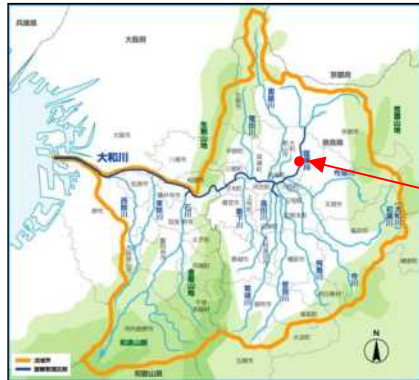
大和川水系佐保川における河川改修事業の効果(速報版)

大和川水系佐保川では、令和3年8月12日からの前線性降雨により、番条水位観測所において水防団待機水位を0.94m上回る水位を記録した。

『防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策』による堰撤去や河道掘削等の実施により、番条水位観測所地点(本川合流点から4.0km地点)において、**約0.46mの水位低減効果を発現**。

河川改修を実施しなかった場合には、氾濫注意水位に達していたと想定される。 今後の精査により数値が変動する場合があります。

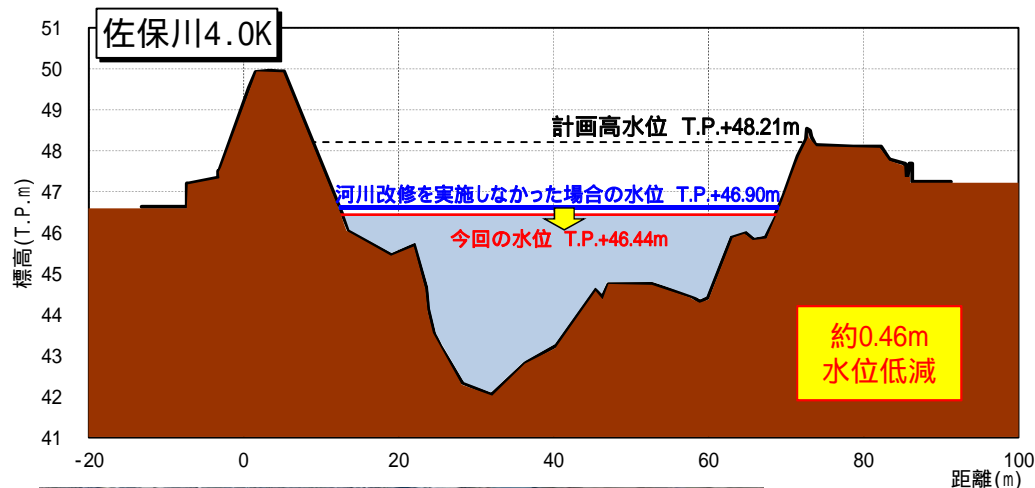
位置図



出水状況(令和3年8月12日13時)



河川整備による水位低減効果



近年実施した河川改修(引堤、河道掘削、堰撤去)

施工前



施工後

